

2016 ～ めざせ！！防災ウォッチマスター ～

2016 ～ 気軽にぶらり写真旅 女学院生限定バスツアー ～

私達は、西宮市の北部・山口町の地域活性化に取り組む3年生山口町班です！山口町は南部との接点がありません、また山口町に住んでいる若者が流出し、新しく住みたいという人がいなくなってきました。そこで私達は、山口町の人々がもっと住みやすく感じるよう、また南部の人々へもっと山口町の良さを知ってもらえるようなイベントを実施しました。

●第6回絆まつり in 山口 2016

～めざせ！！防災ウォッチマスター～●

(日程) 2016年8月6日(土)

(場所) 山口中央公園

(対象) 西宮市山口町周辺地域の方々

(学生スタッフ) 6名

(中学生ボランティア) 4名

一つ目のイベントは、山口町の小中学校 PTA 主催「第6回絆まつり in 山口 2016」です。以前実施した山口町のアンケートに目を通すと、問題点として「防災計画が頼りない」「豪雨による陸の孤立」「防災アナウンスが聞こえない」など、緊急時の対応に不安を抱えている方が多いように感じました。そのため、このような問題点を少しでも改善できるようなイベントを、子供達が遊びを交えながら学べるものにするのはどうかと考え、絆まつりでの防災学習イベント「めざせ！！防災ウォッチマスター」を実施しました。

防災ウォッチとは、昨年度の3年生が発案し作成したもので、災害が起こった時に危険となるアイテムや環境、または身を守ってくれるお助けグッズなどを、子ども達にも学習しやすい妖怪としてキャラクター化しました。この防災ウォッチを引き継ぐ形で、今回は山口町で注意が必要とされる土砂災害に焦点をあてました。



また、イベントを実施するにあたって事前に山口町の災害について学ぶため、西宮市防災啓発課のご協力を得てご講義していただき、非常食も無料で提供していただきました。

それを踏まえ、災害時に特に注意が必要

な危険な妖怪、普段の生活では良い働きをしてくれるが災害時には注意が必要な妖怪、災害時や困っている時に私達の身を守って助けてくれる妖怪の三つに分類した新しいキャラクターを作り、カードゲームにしました。

当日は地元の中学生4名のボランティアメンバ



ーにも加わってもらい、準備・リハーサルを行いました。イベントでは、「雨が降ってきたら、どの妖怪から逃げる？」といったお題にあったカードを制限時間内に集めるカードゲーム、山口町のオリジナル妖怪を集めた妖怪図鑑の配布、西宮市防災啓発課からいただいた非常食の提供の3つを企画していました。

しかし途中でゲリラ豪雨に遭い、カードゲームの実施が困難であったため、妖怪図鑑の配布と非常食の提供のみになりました。非常食の提供では、事前



に準備した災害グッズの手作り簡易食器を用い、また出来るだけ多くの方に知ってもらおうと、ブース外にも配布・提供しにいきました。その結果、非常食 120食、妖怪図鑑 80部を配布しました！

準備していたカードゲームは実施することが出来ませんでした。友達同士で楽しそうに妖怪図鑑を見ている子ども達や、普段馴染みのない非常食を食べて「おいしい」、「どこに売っているのか」と興

味を持ってくださった地域の方々の姿を見ることが出来ました。少しでも多くの方が、それぞれで出来る防災対策を知り、知識を身につけることで、少しでも住みよい町に感じていただきたいと思います。

## ●西宮山口アルキナーレ 2016

～気軽にぶらり写真旅

女学院生限定バスツアー～●

(日程) 2016年11月19日(土)

(場所) 西宮市山口町・山口センター

(対象) 女学院生・地域住民の方々

(学生スタッフ) 6名

(学生ボランティア) 3名

2つ目のイベントは、「西宮山口アルキナーレ 2016 気軽にぶらり写真旅 女学院生限定バスツアー」です。10月に行われた大学祭で山口町



のPR活動をしましたが、もっと多くの人、特に南部の人達に山口町の良さを知ってほしい。そう思い、西宮市北部の山口町で行われるハイキングイベント「西宮アルキナーレ 2016」にあわせ、女学院生を対象にオリジナルのバスツアー&フォトコンテストを企画しました！山口町主催のアルキナーレでは、私達が春に参加した行幸行列も実施されるとのことで、今回も参加することにし、後輩にも参加を募りました。

また、山口町の魅力を西宮市南部に発信するため、西宮市交通計画課にご協力いただき、「さくらやまなみバス」の車内にコンテスト受賞写真を掲載させていただけることになりました！

このさくらやまなみバスとは、西宮北口と有馬・山口町をつなぐ路線バスです。2009年にこのバスが出来るまでは、バスと電車を乗り継ぐ必要があったのですが、さくらやまなみバスが出来てからは、乗り換えなしの一時間程度で行き来できるようになりました。

事前に現地の下見を行い、実際にどのコースを回るかを考え、当日用にマップ付のしおりを作成しました。8月の絆祭りではゲリラ豪雨で予定が

変更したため、万が一に備え、雨天時の場合のコースも考えました。他の講義やTwitterで広報活動したところ、9名と、行幸行列の参加ボランティア3名が集まりました。

イベント当日、なんとこの日も雨に見舞われ、山口町開催のアルキナーレは中止となりました。山口町班主催のバスツアー・フォトコンテストは決行の予定でしたが、やむを得ず中止となってしまいました。しかし行幸行列は屋内で決行するという知らせを聞き、参加ボランティアのメンバーと共に山口ホールに向かいました。

ホールに着くと、外では地元農産物等の販売が行われており、また、ホール内には行幸行列を見に来た方や、休憩所として利用する地域の方、観光客で賑わっていました。

行幸行列とは孝徳帝ゆかりの地で当時の行幸行列を再現したもので、私達は女官役として、当時の衣装を身にまといました。



行幸行列終了後、フォトコンテストの変わりに何か出来ないか考え、急遽、センターにいる皆さんに「あなたにとって山口町の好きなところは？」と題したスケッチブックリレーを書いていただきました。すると「自然がたくさんある」、「空気がきれい」、「山口町の人はやさしい」、「四季折々の美しい風景と会える」など、山口町の魅力が伝わってくる言葉ばかりで、皆さんが山口町のことを大切に思っていることがよく分かりました。全部で30組66名のみなさまにご協力いただきました。ありがとうございました！



そして、フォトコンテスト受賞作品を掲載する予定だったさくらやまなみバスには、このスケッチブックリレーをまとめたものを掲載させていただくことにし、現在バス全8台中6台分に私たちが作ったポスターが並んでいます！後日、西宮市交通計画課の方から、さくらやまなみバスのポス

ターを乗客の方々が気にとめてくださっている  
ようで、好評だと教えていただきました！



また山口町の PR 動画  
を作成し、この一年間お  
世話になった山口地域活  
性化推進委員会の皆様へ  
お送りしました。

イベントでは、当初の予定と変わった点がたく  
さんありましたが、その都度、班員みんなで知恵  
をしばり、また周りの方々にも救われ、無事に活  
動を終えることが出来ました。この一年間で、南  
部の住民である私達が町のみなさんとの関わり  
を通じ、山口町の魅力をたくさん知る事が出来ま  
した。また町のみなさんにも私達の活動について  
知ってもらうことが出来ました。そしてスケッチ  
ブックリレーをバス車内広告に起用したことで、  
町外の方々へ山口町の魅力を届け、地域活性化に  
結びつけることが出来たと思います。



これまでお世話になった、山口地域活性化推進  
委員会、西宮市防災啓発課、西宮市交通計画課、  
そして山口町の皆様、本当にありがとうございました。